



患者の生活を支える ツール: ライオンブリッジと DANISH HEMOPHILIA SOCIETY のパートナーシップ

重要文書

2 つの言語

救われる命



課題

Danish Hemophilia Society (DHS) は、出血性疾患患者の生活の質を改善しようと真摯な取り組みを続けています。今回のプロジェクトでは、免疫性血小板減少性紫斑病 (ITP) の小児患者の支援に焦点を当てました。

ITP の小児患者は血小板の数が非常に少なく、血液の凝固が阻害されます。ITP は一過性の場合もあれば、慢性疾患となる場合もあります。この病気は生命に危険を及ぼすおそれがあり、治療法はありません。いくつかの緩和医療が存在しますが、多くの場合、病気そのものと匹敵するほど重篤な副作用を伴います。

クライアントについて

Danish Hemophilia Society は 1970 年に設立され、血友病治療センターの創設と、この病気を持つデンマークの人々に対するさまざまなリソースの提供を行っています。その政治的な重要性は設立当初から増し、デンマーク国内外で出血性疾患患者の病状の改善に深く関与しています。同組織の主な目標は、出血性疾患患者とその家族にコンサルティングとサポートを提供すること、血友病とその他の出血性疾患に関する知識を広めること、情報と議論を介して新たな治療法に焦点を当てること、デンマークの 2 つの血友病治療センターと連携して出血性疾患の研究を推進・支援することです。



課題 (続き)

デンマークでの科学研究と実習を促進する小児科医団体である Danish Pediatric Society は、ひどい出血があった場合のみ、あるいは手術前や出血につながる状況が発生する可能性がある場合の予防対策としてのみ、薬を使用することを推奨しています。これによって、自分の子供を観察し、彼らが出血の恐れがある状況に身を置かないようにしなければならぬ親は、とてつもなく大きな責任を負うこととなります。

ITP を専門とするあるカナダ人の小児科医が、親が小児患者の日常生活に対処し、より効率的に医療専門家とコミュニケーションを取ることができるようにするためのダイアログツールを作成しました。それは、3 種類の特殊な質問票から構成されるもので、ITP の小児患者とその親を対象としています。デンマーク人の親がこのツールの英語版を高く評価し、そのデンマーク語版に興味を示したのです。DHS は、この種の翻訳の専門知識と成功例を持つ言語サービス プロバイダー (LSP) と提携する必要がありました。

ソリューション

DHS はライオンブリッジと提携し、患者報告アウトカム (PRO) 質問票の翻訳にライオンブリッジの言語検証手順を採用しました。DHS がライオンブリッジを選んだ決め手は、そのコスト効率の高さと広範な専門知識でした。

「ライオンブリッジからの提案内容と料金を見て、同社は以前にもこうした仕事をしたことがあるのだろうと感じました」と話すのは、DHS のプロジェクト マネージャーである Emilie Vraagaard 氏です。「それで安心できたのです。他の翻訳者たちは必ずしもこうした作業の経験があったわけではなかったのです。つまり、この作業は翻訳を超えるものなのです。この質問票は特定の手法で翻訳する必要があります。なぜなら、後から医学研究に使用される可能性があるからです。最初にライオンブリッジから受け取った提案内容ではその基本事項がカバーされていたため、最適なパートナーであるかもしれないと考えました」

ライオンブリッジは、DHS と、DHS がもともと提携していたデンマーク人の主任小児科医、さらに英語版の PRO の著者と緊密に連携し、DHS のニーズを満たすために、翻訳、逆翻訳、比較レビュー、照合作業から構成される言語検証サービスを提供しました。

ライオンブリッジはまず英語からデンマーク語への順翻訳を行い、お客様とともに 2 つの順翻訳を照合して最終的な順翻訳を決定しました。その後、品質へのこだわりをもって逆翻訳を行い、これをプロセスの次のステップの基盤としました。次のステップとは、デンマーク語から英語への逆翻訳と元の英語版との比較 レビューです。

結果

適切な言語リソースの提供や、ターゲットとなる患者グループ、スタイル、テキスト間の統一性、一貫性、言語ルールを考慮しつつ、業界標準とお客様の好みを満たした最終翻訳の提供など、ライオンブリッジ は言語検証プロセスにおいてその言語的専門知識と実績を発揮しました。その結果、包括的で規制に準拠したデンマーク語版の質問票が完成しました。ITP 小児患者の親はこの質問票から重要な情報を得ることでより効率的に自分の子供を観察できるようになり、医療プロバイダーとデンマーク語でコミュニケーションを取ることができるようになります。

「非常にすばらしいプロセスでした」と Vraagaard 氏は言います。「多くの共同作業を行いました。それは楽しいもので、その点が重要なのだと思います。互いに状況を十分に理解し、プロセスを適応させようという意欲を持っていました」

ライオンブリッジは、DHS のような、ボランティアとともに運営する小規模組織に最適なアジャイル プロセスを作り上げました。

「私は心からライオンブリッジをお勧めします」と Vraagaard 氏。「似たような作業を行う必要がある別の患者組織や医療組織と話す機会があれば、ライオンブリッジを推薦するでしょう」

詳しくはこちら

[LIONBRIDGE.COM](https://www.lionbridge.com)